

先進事例検索システム

事例No.	2999
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	岐阜県加茂郡東白川村

事例区分 (大)	地域活性化
-------------	-------

事例区分 (小)	移住定住
-------------	------

事例種類	地域資源の活用
------	---------

事例内容・タイトル

地産地消でむらおこし

出典

令和5年度調査研究：先進事例調査研究事業

○地産地消でむらおこし

- ・取組団体：岐阜県加茂郡東白川村
- ・取組内容：注文住宅受注減少の課題を解決し、国産材を使った建築を永続的に基幹産業として振興していくための施策
- ・推進体制（令和5年度）：専任1名、兼務1名
- ・事業予算（令和5年度）：14,126千円

（財源）一般財源…10,806千円

その他…3,320千円（システム使用料3,120千円、PR広告負担金200千円）

1. 岐阜県加茂郡東白川村の概要

人口：2,092人（令和5年4月時点）

職員数（一般行政部門）：69人（令和5年4月1日時点）

総面積：8,709ha

図表1 東白川村の位置図

国土地理院承認 平14総複 第149号



出所：（一財）地方自治研究機構作成

2. 取組の背景・目的・内容

(1) 取組の背景・目的

国産材は高いという思い込みや、価格競争などの問題を解決すべくインターネットを利用して東白川の家づくりを売り出す事業として創設された「フォレスタイル」は、森の恵みに満ちた暮らし方を提案するウェブサイトとして、平成 22 年から運用が開始された。

林業と建築業を基幹産業とする東白川村にとって、安価な外国産材の輸入増加や木材注文住宅市場の縮小は大きな経済打撃となった。この影響で村民の所得が年々減少した結果、若年層が村を離れ、平成 10 年から平成 21 年までの約 10 年間で失った村民の総所得は、10 億を超える。東白川村は、他地域同様に「産業の停滞→雇用の減少→企業改革が困難」という負のスパイラルに陥った。

この状況を打破すべく考えられたフォレスタイルは、事業の中に ICT を取り入れることで負のスパイラルから「仕事の増加→雇用の増大→人材育成によるイノベーション思考を増やす→持続性のある産業発展」という持続可能な地域活性スパイラルを実現させることに成功し、地方創生の要となっている。

この取組は、地元にある自然の資材が活用されることで、温室効果ガス削減に貢献し、地域経済振興にも寄与することができるという点で、GX の観点からも好事例である。

(2) 取組の内容

① フォレスタイルとは

フォレスタイルは、高そう、洋式建築はできなそう、といった国産材のイメージを払拭し、国産材を使用した家を身近なものにし、国産材の利用向上を目的として始めた事業である。

建築士のグループ化と工務店のグループ化、そして地方自治体が顧客との間に入ってサービスを提供することで、予算や建築士・工務店選びにおいても、「家づくりについて深く知ってから決める」ことが可能となる。フォレスタイルは、納得の国産材、洗練されたデザイン、確かな技術、そして大切なパートナーを自分自身で選ぶことのできる建設ソリューションと言える。

フォレスタイルでは、納得できるプロセスが満足できる家づくりにつながると考えているため、住宅設計からアフターメンテナンスまで、家づくりの全てにおいて「納得いただけること」を重視している。

ア 家づくりの流れ

- ・家づくりのイメージを固める
シミュレーターを使用した概算把握、事務局と家づくりに関する相談
- ・建築士・工務店選び
フォレスタイルが代理人となり、建築士・工務店の選択をサポート

- ・ 契約の締結
- ・ 家づくり開始（着工/上棟式）
進捗報告をフォレストスタイルのマイページから確認可能
- ・ 完成
完成後はアフターメンテナンスを通じてサポート

イ 品質

フォレストスタイルでは、品質を約束するためのガイドラインを設けており、本ガイドラインに則った契約、建築施工、アフターサービスなどの実施を徹底することにより、顧客に対する建築士・工務店のサービスの質を向上させている。

ウ スタイル

フォレストスタイルでは、優良な国産材を豊富に使い、家づくりにおける洗練されたデザインと高い技術水準を届けるとともに、日本古来のスタイルを見直しながら、国産材建築の持つ特性や薪ストーブなど日本古来のエネルギーを活用した生活空間を提案している。

② 機能一覧

フォレストスタイルでは、家づくりのすべてにおいて顧客に「納得してもらえること」を重視している。理想のライフスタイルを、納得できるプロセスを通じて提供するために、フォレストスタイルのサイトでは以下の機能を設けている。

ア 概算建築費がわかる間取りシミュレーション

実際に間取を作成することができ、概算建築費を算出することができる。他人が作成した間取を検索し閲覧する機能もあり、費用や床面積で検索することも可能

イ 代理人によるサポートを伴う建築士・工務店選択制度

フォレストスタイルが代理人となり、建築士・工務店やプランの選択のサポートを担当し、建築士・工務店とのコミュニケーションのすれ違いを軽減

③ 本取組における自治体の役割、支援内容

本取組において、東白川村の主な役割は注文住宅の受注支援である。注文住宅の受注について、顧客と直接やりとりを進めて受注を受ける仕組みから、ネット環境を活用して注文住宅を受注する仕組みを考案し、システムを構築している。

また、行政職員が家づくりのサポートを行ったり、東白川村産の柱材や特産品を贈呈したりするといった、工務店だけでなく顧客への支援も行い、工務店と顧客の橋渡しの役目も担っている。

そのほかにフォレストスタイルの利用者に対し、以下の支援を行っている。

● 支援内容

- ・ 建築に用いた柱を全て無料提供

- ・ポイントの利用で村内商品と交換可能
- ・上棟式への村長出席と記念品支給

3. 成果・課題

(1) 成果

住宅を取得した顧客からは、「国産材は高価というイメージがあり、東濃ヒノキなどブランド材を使うことは出来ないと思っていたが、産直住宅ということで木材が安く手に入り、ふんだんに木のぬくもりを感じる家が出来た」、「建築士や工務店と相談しながら選ぶことができ、良い家づくりが出来た」「合板や建材でなく無垢材を使うことで、健康を意識した家づくりが出来た」「行政も共同の事業であることで安心感がある」等の意見があった。

●その他の主な成果

- ・第3回全国村長サミットで最優秀賞（村オブ・ザ・イヤー）を受賞
- ・総務省 ICT 地域活性化大賞で大賞を受賞
- ・村内の基幹産業を活用し、ICT を有効に活用した持続可能な取組として評価
- ・フォレストスタイル事業により、雇用と個人所得の減少傾向を改善
- ・国産材を使用した住宅建築の受注増加（144 件）と売上高の増加（約 40.8 億円）
※平成 21～平成 27 年度実績
- ・東京都や大阪府からも受注を獲得し、新規顧客の獲得に貢献
- ・村の森林組合木材出荷量増（約 48%増加）、建設業の売上増（約 70%増加）
※平成 21～平成 25 年の推移データ

(2) 課題

① 事業自体の課題

建築業としても、ウッドショックによる国産材をはじめ様々な物価の高騰の影響で、受注件数は減少傾向にある。また、ZEH や HEAT20 など断熱性能等級が見直されつつあり、顧客要望としても高气密・高断熱が求められるケースが増えてきている。

フォレストスタイルでも、建築士と共にこのような要望に応える家づくりをしているが、工務店に要求する技術が日々上がっているという課題や各工務店の後継者問題が課題となっている。

② フォレストスタイル事業の推進

フォレストスタイル事業は順調に成長しているが、消費税増税といった社会情勢や地域所得、人口構成などの影響を大いに受ける業界であり、建築受注数にも波がある。東白川村では、このような同じ悩みをもつ自治体や建築関係団体に、フォレストスタイルシステムを無償提供す

ることで、多くの仲間と相乗効果を発揮し、さらに価値あるネットワークの構築を目指している。

③ 行政と民間企業の役割

現在、行政の支援は大きく分けて「営業」と「建築振興」の2つを実施している。「営業」では、行政職員が工務店に代わり顧客との面談による要望の把握など直接的な営業支援、「建築振興」では、柱の助成や建築費削減等の支援を行っている。

このように現段階では行政による支援が前面に打ち出されているが、今後は工務店などの民間企業が中核となって、フォレストスタイルを導いていくスタイルの確立を目指している。そのためにも、フォレストスタイル事業を通じて、各工務店の自力の向上と、行政による間接的な営業支援が必要と考えている。

【参考】

東白川村ホームページ

- ・住民基本台帳による人口（月次統計）

<https://www.vill.higashishirakawa.gifu.jp/sonsei/koukai/toukei/#jinkosui>

- ・総面積

<https://www.vill.higashishirakawa.gifu.jp/syoukai/gaiyo/gaiyo/>

- ・森の生活空間 Forestyle

<http://forestyle-home.jp/>